

高橋節郎の漆芸 展 実施要項

2011年11月12日(土)～12月18日(日) [32日間]

砺波市美術館 企画展示室

概 要

高橋節郎(1914-2007)は1914年(大正3年)長野県安曇野市穂高北穂高生まれ。東京美術学校工芸科漆工部、同校研究科を修了後、新文展・日展、日本現代工芸美術展を中心に活躍しました。《菊雛蒔絵文庫》(1946)、《化石譜》(1964・日本芸術院賞受賞作)をはじめとする漆黒と金の加飾によるすぐれた作品を次々に発表。1981年に日本芸術院会員に推挙され、また1997年には文化勲章を受章。緊張感に充ちた華麗な作品で、伝統的な漆工芸に現代的な感覚を導入しその仕事は高く評価されました。

本県ともゆかりがあり、それは東京美術学校工芸科在学中に、富山の漆芸家・山崎覚太郎(1899-1984)に師事しており、また後年、井波の漆芸家・横山幸文(1942-2002)が高橋の作品補修に関わっていることなどからもうかがえます。

展覧会は、豊田市美術館・高橋節郎館の所蔵品より構成し、蒔絵や木芯乾漆、飾盤など、多彩な漆芸作品を選び、作品から氏の生涯に迫りたいと思います。

名 称 高橋節郎の漆芸

主 催 砺波市美術館・公益財団法人砺波市文化振興会、読売新聞北陸支社、
美術館連絡協議会

共 催 富山テレビ放送

後 援 となみ衛星通信テレビ、エフエムとなみ、となみ芸術文化友の会

協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、富山県民芸術文化祭実行委員会

協 力 豊田市美術館、(財)高橋記念美術文化振興財団

会 場 砺波市美術館 1階企画展示室

会 期 平成23年11月12日(土)～12月18日(日)

開幕式 11月12日(土) 午前10時 美術館にて

招 待 事業関係者・美術館関係者・作家関係者など

作 品 豊田市美術館、砺波市美術館で協議して選定 45点

日 程 搬入・飾付 11月9日(水)、10日(木)

撤収・搬出 12月19日(月)、20日(火)

観覧料 一般500円(400円)／高校生以下無料

※()内は前売料金、20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

関連催し

11月12日（土）午後2時より 市民アトリエにて
記念講演会「高橋節郎の漆芸」展によせて
吉田俊英 豊田市美術館長
（聴講無料）

12月11日（日）午後2時より 市民アトリエにて
講演会「漆芸と私」
スザーン・ロス 漆芸家・輪島在住
（聴講無料）

12月4日（日）午前10時～午後3時 ※昼休憩を挿みませす 市民アトリエにて
ワークショップ：手作りキーホルダーをつくろう
齊藤晴之 漆芸家・富山大学芸術文化学部助教授
参加材料費 1000円（当日集めます）

参加者は事前に図案3点を準備、漆芸技法のひとつ 堆朱（ついしゅ）の効果を体験します。

対象 小学生高学年以上

問合せ先 お電話かFAXで砺波市美術館まで 定員20名（先着順）

〒939-1383 富山県砺波市高道145-1

電話0763-32-1001 FAX0763-32-6361

11月19日（土）午後2時より 展示会場にて
ギャラリートーク
末永忠宏 砺波市美術館学芸員
（要観覧券）

12月10日（日）午後2時～3時 市民アトリエにて
日曜講座「高橋作品について」
末永忠宏 砺波市美術館学芸員
（聴講無料）

砺波市美術館 末永忠宏（まつえ・ただひろ）
〒939-1383 富山県砺波市高道145-1
電話0763-32-1001
FAX0763-32-6361